

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2)計画・設計から管理までの各段階における最適化【1】計画・設計の見直し】

除去流木の有効利用（建設副産物対策の推進）

工事名：大野ダム 平成18年発生災害復旧工事

概要：堆積した流木をチップ化処理し、公園や園芸用資材として有効利用した。

効果

- 除去流木を現地でチップ化し、処分費用を改善した。（540m³の除去で、約12百万円のコスト改善）
- ダム災害に限らず、河川災害の堆積流木でも適用可能。



有効利用
公園舗装材、園芸資材 等へ